

先輩たちが案内してくれるから  
わかりやすい、聞きやすい

# OPEN CAMPUS

オープンキャンパス  
KANTO GAKUIN UNIVERSITY

受験生サイトはこちらから

今年度のオープンキャンパス日程については  
受験生サイトをご確認をお願いします。

オープンキャンパスは全日程で事前申込が必要です。公式LINEアカウント  
をお友だち追加していただくと、最新情報を取得できます。右のQRコードより、  
お友だち追加をお願いします。



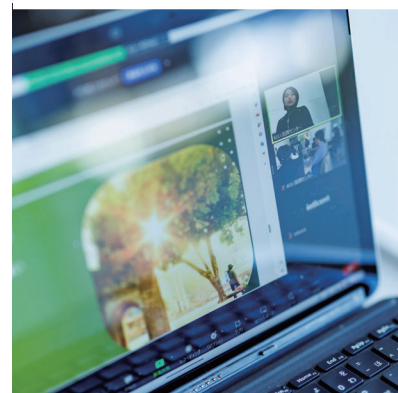
国際文化学部  
オリジナルサイト



「横浜駅」から「金沢八景駅」まで京浜急行線(特急・快特)で20分。  
「金沢八景駅」からキャンパスまで、徒歩15分または京浜急行バス(関東学院循環)で5分。

横浜・金沢八景キャンパス 国際文化学部

〒236-8501 横浜市金沢区六浦東1-50-1



※2026年4月開設予定



## 4年間の 流れ

国際文化学部は、異なるバックグラウンドを持つ人とコミュニケーションを取るだけでなく、より深く関わり、ともに何かを成し遂げるため、自ら考え行動するヒトを育てる学び場です。2026年度より、それまでの2学科を国際文化学科の1学科に統合し、そこに「英語文化コース」「グローバル歴史文化コース」「多文化協働コース」の3コースを新設します。学びの土台となる基盤科目を充実、皆さんの選ぶアプローチに沿って専門性を深められるカリキュラムになります。

### 基礎ゼミナール

レポートの書き方や発表の仕方を学びます。

### キャリア教育科目

1年生から卒業後のキャリアについて考えます。

### 学部基盤科目

各コースの学びの土台を作ります。

## コース共通の学び

大学で必要となる知識やスキルを身につけます。

### 英語文化コース

英語力を向上させ  
文化的な理解を深めます。

### グローバル歴史文化コース

フィールドワークなどで、現実と結びついた、  
歴史と文化の知識を体得します。

### 多文化協働コース

多文化共生社会と  
そこにある課題について学びます。

## 専門の学び

コースごとに専門的な学びが  
始まります。

## ゼミナール/CO-Project

各コースの専門ゼミナールで、  
互いに協力して学びを深めます。

### 英語文化コース

英語に関する知識を深掘りして  
論理的思考力を高めます。

### グローバル歴史文化コース

テーマを決めて知識をつけます。  
意見交換を通して思考力と表現力を磨きます。

### 多文化協働コース

CO-Projectで多文化共生社会の現場に出て、  
課題に取り組みます。

## 卒業論文・卒業研究

学びの集大成として研究を  
遂行し、成果をまとめます。

### 英語文化コース

英語圏の文化や英語教育、  
ことばとしての英語を中心に研究します。

### グローバル歴史文化コース

歴史と文化から現在の問題を考えます。  
学外の方とも交流し、自分の考えを鍛えます。

### 多文化協働コース

プロジェクトをもとに課題を見つけ、  
解決方法を提案、実行します。

## INDEX

|              |    |
|--------------|----|
| 国際文化学部の学び    | 1  |
| 3つのコース       | 3  |
| 英語文化コース      | 4  |
| グローバル歴史文化コース | 5  |
| 多文化協働コース     | 6  |
| 特色ある学び       | 7  |
| キャリア支援       | 9  |
| 資格           | 10 |

## 諸課程

### 教職課程

中学校教諭(英語、社会)  
高等学校教諭(英語、地理歴史、公民)

### 学芸員課程

### 日本語教員養成課程

### 社会教育主事養成課程

### 司書課程

### 国際交流

国際文化学部ではキャンパスの内外で様々な国際交流活動を実施しています。詳細は学部Webサイトをご覧ください。

## 3つの コース

# 「文化」の学びを土台に、 国際化する社会のなかで自ら考え、動く

新しい3コースではそれぞれ、確かな英語力を軸にグローバル時代の国際感覚を磨き、日本を含む世界の歴史と文化を理解して将来を展望する力を養い、多文化社会で他者と協働しながら問題解決する能力を育てます。どのコースも、これまでの世界の文化・歴史・言語の学びをベースにしつつも、社会と連携して実践的なスキルを磨くことを重視するため、多くの演習系科目を含むカリキュラムになっています。

## 多文化共生の担い手を育てる3つのコース

### 3コース共通の柱

## 01 社会と連携するフィールドワーク

3コースそれぞれに、特色ある現地研修科目を設置。学外の人々と、共に考え、議論し、行動することで、課題を解決につなげるためのアプローチを実践的に学びます。



## 02 広く・深く文化を読みとく講義と演習

過去から現在、古典や哲学からポップカルチャーまで、多岐にわたる文化や歴史、外国語の講義で知識と教養を深め自ら考えるための土台を培い、演習系科目で他者に発信し、フィードバックを得ることにより、自らの考えを磨く力を養います。



### 6つの特徴

#### Feature 01

多文化共生と異文化理解に貢献する道筋を示す、特色ある3つのコースがあります

#### Feature 02

自分が所属する以外のコースの専門科目も幅広く学べます

#### Feature 03

英語からフランス語、ドイツ語、スペイン語、中国語、韓国語など多様な外国語が学べます

#### Feature 04

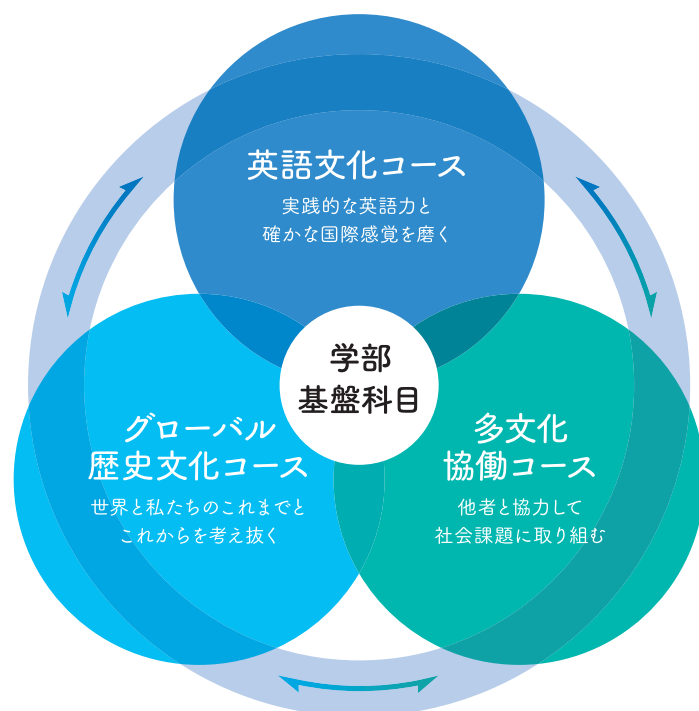
データサイエンスなどの科目を通じ、情報リテラシーに関わる基礎的な力を身につけることができます

#### Feature 05

KGUキャリアデザイン入門、KGUインターンシップなどの科目を通じ、卒業後のキャリアに向けた準備をすることができます

#### Feature 06

教員と学生の比率、約1:10(1学年)の少人数制のゼミナールで、みなさんの関心をさらに深めることができます



### 英語文化コース

実践的な英語力と  
確かな国際感覚を磨く

### 学部 基盤科目

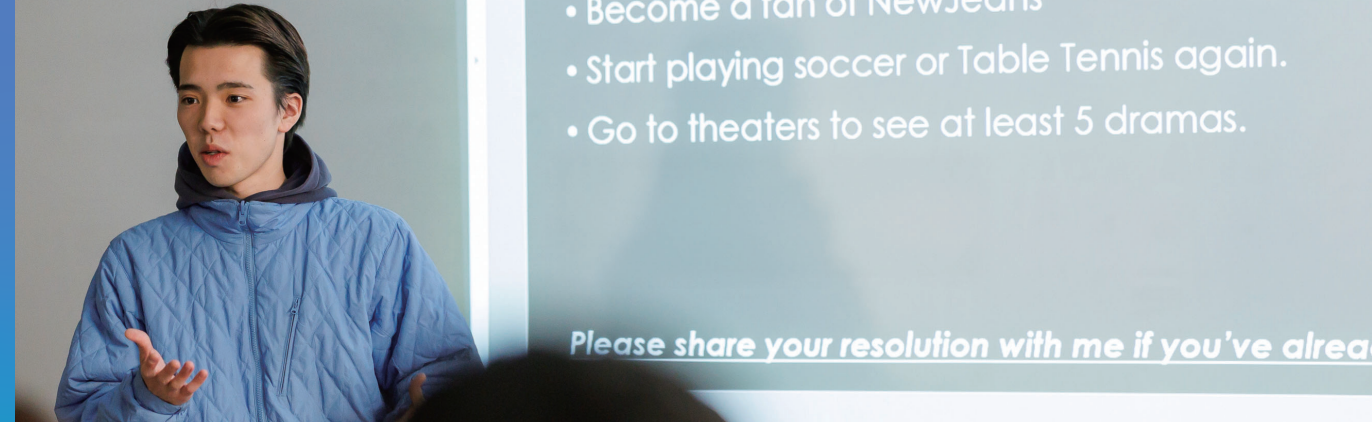
### グローバル 歴史文化コース

世界と私たちのこれまでと  
これからを考え抜く

### 多文化 協働コース

他者と協力して  
社会課題に取り組む

## 英語文化コース English Language-Culture Course



実践を重視した授業や学内外の国際交流活動を通じて、英語を用いて主体的に発信できるコミュニケーション能力を培うとともに、英語圏の人々や社会、文化、ことばへの理解を深めていくことで、優れた国際感覚を身につけた、グローバル社会の一員として活躍できる人材を育てます。

### コースの特徴

## 01 英語圏のことばと文化を 主体的・多角的に学ぶ

英語圏の文学や文化、英語学、異文化コミュニケーションから複数の分野を専門的に学べるカリキュラムを用意。

## 02 English Camp

英語漬けで過ごすキャンプ型の集中プログラム。英語のスピーチやドラマをコンテスト形式で発表します。

## 03 Global Awareness Program (GAP) P.7

世界で活躍できるグローバル人材を育成する特別なプログラム。多くの授業を英語で受講でき、留学奨学金も支給されます。



## 英語力の向上に加え、 コミュニケーションの本質を理解する 中谷 音々さん NENE NAKATANI

英語文化コースでは、英語の基本的なスキルを身につける授業に加えて、英語圏の文化や英語と他言語との違い、英語の授業でのICTの活用方法など、英語に関する様々な知識とスキルを幅広く学ぶことができます。異文化コミュニケーションに関する授業では、文化には多様性があり、それによって摩擦や葛藤が生じうることを知りました。他者と通じあうとはどういうことなのか、コミュニケーションの本質のようなものが理解できた気がしています。将来は大学で得た知識や理解を生かして、英語教育に関わる仕事に就き、多くの人に英語の楽しさを伝えていきたいと考えています。





過去を知り、今と未来を考える力を養うため、多様なバックグラウンドを持つ人々と共に生きる力を養うために、日本を含む世界について、歴史と文化の二つの面から深く掘り下げて学びます。歴史や文学、思想から、映画や美術、現代のポップカルチャーまで、自分の関心に応じて豊富な選択肢から学びます。

### コースの特徴

#### 01 世界と日本の歴史と文化をどこからでも

科目選択の自由度が高く、興味のある分野や地域を深めることも、身近なものから広がっていくこともできます。

#### 02 ワールドスタディ

アジア、アメリカ、ヨーロッパを探訪。現地の文化・教育施設を訪問し、人々と交流して、価値観の多様性を体感します。

#### 03 フィールドワーク P.8

古くから異文化が往来する横浜とその周辺地域をめぐる、現実と結びつけて知識を得る方法を学びます。



### スペインで現地の歴史や文化に直に触れ、自分の視野が広がったのを実感

笠原 悠希さん YUKI KASAHARA

欧米やアジアの歴史と文化の授業が充実しています。英語以外の第二言語として、韓国語や中国語などを履修できますが、私はドイツ語を選択し、おもにヨーロッパの文化や歴史を学んでいます。ワールドスタディという海外研修に参加してスペインを訪れました。ブラド美術館、ソフィア王妃芸術センターなどで作品を鑑賞し、さらにキリスト教の聖地であるサンティアゴ・デ・コンポステーラも訪問することで、スペインの芸術と文化、そして宗教的な側面に直に触れました。現地の歴史や文化を直接体感したことで、異なる価値観を持つ人々への理解が深まり、自分の視野も広がりました。コミュニケーション力も上がったように感じ、将来にも役立つ貴重な経験ができたと思います。



文化的な背景の異なる人々が共に生きる現代の多文化共生社会。そこで生じる様々な課題を解決するために、国際協力・開発、言語、教育の三つの分野の学びや、キャンパス内外での様々な国際交流を通じて、他者と力を合わせて働き、解決への道筋を探ることのできる人材を育てます。

### コースの特徴

#### 01 多文化共生社会とつながる

キャンパスの内外で多様な文化と価値観を持つ地域の人々と積極的に交流し、連携しながら学びます。

#### 02 3つの軸による実践的教育

国際協力・開発、言語による支援、教育による支援を行うための知識とスキルを身につけ、実践します。

#### 03 プロジェクト型ゼミナール P.8

独自の課題解決型ゼミナールを開設。海外研修や地域での国際交流を通じて課題の発見や解決に取り組みます。



### 文化や価値観の違いを越えて日韓の懸け橋になりたい

渡邊 寿々佳さん SUZUKA WATANABE

高校生の頃から日本と韓国の関係に興味があり、大学では韓国語を履修し、韓国に関する授業を中心に学んでいます。韓国で現地研修を行う授業にも参加し、3年次には韓国の教育省から推薦を受け、大邱で3週間ほどの短期留学も体験しました。学内では多くの人たちに韓国文化の魅力を知ってもらおうと、外部のゲストを招いて韓国の伝統的な食文化に関するイベントを開催しました。このイベントをきっかけに学食でも韓国料理が提供されるようになり、自分たちの活動を通じて韓国文化に興味を持ってもらえる機会が作れたのではないかと感じています。今後も日韓のかけ橋になるべく勉強と活動を続けていきたいです。



映画のロケ地を訪れて地域の理解を深める

#### 学生インタビュー（フィールドワーク）



MISAKI KOHATA  
木幡 美咲さん

横浜が舞台の映画やドラマのロケ地を実際に訪れ、作品の中で観る過去の横浜と現在の横浜を比較して、当時の風景との違いや、この街がどのように変化してきたのか、その歴史的な背景を学びました。黒澤明監督『天国と地獄』のロケ地のひとつである「大岡川河畔」では、映画が撮影された当時から地層のように何層か塗り重ねられたコンクリートを見て、時代の移り変わりを感じることができました。映画は、たんに観るだけでなく、撮影された場所に赴くことで新たな発見があり、作品や地域の歴史に対する理解がより深まることを知りました。

#### フィールドワークで 神奈川・横浜、 そして世界を探究

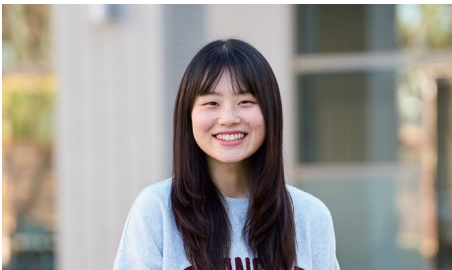
グローバル歴史文化コースには、横浜やその周辺地域をめぐり、日本の発展の歴史や国内外を行き交う文化の産物について探究するフィールドワークの授業（通称：せかたん・かなたん）があります。そのひとつ「映画と神奈川・横浜」では、横浜や鎌倉で撮影された映画・テレビ作品を取り上げ、そのロケ地を実際に歩いてみます。



## グローバル歴史文化コース

新しい環境でこそ  
得られる気づきや  
学びがある

#### 学生インタビュー（留学）



KAZUKI IKEDA  
池田 和希さん

とにかく英語力を向上させたいという思いでイギリスのスターリング大学に短期留学をしました。現地ではディスカッションを中心にした英語のレッスンを受けながら、スコットランドの独自の文化や言語に触れる機会にも恵まれました。英語が上達しただけでなく、物事の見方や考え方も大きく変わり、自分の世界が広がっていく感覚を体験することができました。休暇を利用して友人とロンドンへの小旅行を計画し、実現したことも忘れられない思い出です。新しい環境に身を置いたからこそ得られた気づきや学びだと思っています。

#### 世界や社会とつながり 深い理解を目指す

国際文化学部では、国際交流を大学が押し進める社会連携教育のひとつと捉え、積極的に取り組んでいます。そのひとつが海外留学、もうひとつがフィールドワークなどを通じた国内外の地域での学びです。大学とは異なる多様な価値観に触れて欲しい——そんな願いをもって世界や社会に出て学びたい人を積極的に後押ししています。

人と人  
と地域を  
プロジェクトでつなぐ

#### 学生インタビュー（CO-Project）



MIKI KOGA  
古賀 美姫さん

2年次のゼミナールでは、様々なワークを通して地域づくりの基礎知識を身につけました。同時に、ゼミ生の主導で実施している「カンボジア・ソーラーランタン支援プロジェクト」において、学園祭や地域イベントでランタンの販売を行いました。プロジェクトに関わる中で、地域社会には多様な価値観をもつ人がいること、そのなかで理解・協力し合い、人と人がつながることがいかに大切かを実感しています。また、長期休暇にはフィリピンやタイ、カンボジアを訪れ、現地の方々と交流しながら、開発問題や異文化理解について学んでいます。将来は地域の特性を大切にしながら課題解決に取り組み、地域の発展に貢献していきたいと考えています。

#### CO-Projectで 多文化共生社会の 課題にアプローチ

CO-Projectはコース独自のプロジェクト科目群です。「個」の力を合わせて「CO（共）」の力とし、他者との協働のなかで多文化共生社会が抱える様々な問題の解決に取り組む、教育と社会活動が一体となったプログラムです。3年生から全員が参加し、学内外の様々なパートナーと連携を図りつつ、主体的にプロジェクトを運営していきます。



## 多文化協働コース

仲間とともに  
英語力を鍛えて  
世界へ

#### 学生インタビュー（GAP）



RENTA KITAZAWA  
北澤 蓮太さん（左）  
HITOSHI SCOTT SAITO  
齊藤スコット斉さん（右）

GAP生対象の国際交流企画・インドネシア研修にて

GAPでは、卒業に必要な単位の60%以上を英語による授業で修得できます。英語学習に多くの時間を費やすことができ、英語力を伸ばしたいと考えている私たちにとって、最適な環境であると思います。授業以外でも、GAP生同士でお互いに学びあおうという雰囲気があるところも気に入っています。GAP生を対象にした国際交流の機会も設けられています。こうした機会を通じて、文化的な背景が違う人たちやコミュニティに触れられて、とても刺激になりました。今後は英語圏への留学を目指してさらに実践的な学習を重ね、将来は英語力を活かせる仕事に就きたいです。

#### 英語圏への 留学で大きく成長

英語文化コースには、English Campをはじめ英語圏への留学を推奨、支援するプログラムが用意されています。特にGAP生には、留学準備のための授業を用意するなどサポートを手厚くしています。留学を通して様々な体験をすることで、英語力を伸ばすだけでなく、人間的にも大きく成長することができます。



## 英語文化コース

## 特色ある学び

## 国際交流×社会連携



## キャリア 支援

# 確かなサポートで自信を持って社会へ

国際文化学部では、学部独自で就職活動を支援するプログラムを展開し、大学生活の早い段階から学生の進路に対する意識を高めています。KGUキャリアデザイン入門、KGUインターンシップといった大学全体のキャリア教育科目に加えて、ジャーナリズムや旅行・観光業などの学生の関心が高い分野を中心に、基本的な知識やスキルを学べる独自の授業を開講しています。また、第一線で活躍するゲストを招いた講演や実務経験豊富な教員による実践的な就職セミナーなど、就職活動を成功に導くための様々な取り組みがなされています。

## 丁寧なサポートで学びを活かせる 職場に巡り会えました

Miu Sando

山藤 未由さん 株式会社星野リゾート

初めはKGUインターンシップという科目で就職活動の基本を学びました。それから、学内で開催された合同企業説明会やセミナーに参加し、企業の方にお話を伺って、就活を進める上での判断軸をつくることもできました。就職支援センターでは、エントリーシートの添削をしてもらったり、体育会クラブ所属の学生向けのガイダンスにも参加させてもらったりしました。授業では英語や異文化理解について学びました。ホテルは様々な言語や文化が行き交う場所です。就職したら自分の幅をより広げ、もっと多くの言語を話せるになりたいです。

(※インタビューは在学時に実施したものです)

## 卒業生

## 旅行や観光で 日本の魅力を発信したい

Yuka Kurihara

栗原 悠佳さん 近畿日本ツーリスト株式会社

私は国内旅行会社で、法人企業を対象に国内・海外出張、国際的なビジネスイベントの開催などのサポート業務を行っています。つねに細心の注意が必要とされるため緊張感がありますが、案件が無事に終了する度、「やりきった!」という達成感を味わっています。学生時代は、大学で与えられる学びの機会を逃さないように、明確なゴールを設定し、いつまでに何を行うのかを考えて行動することが大事だと思います。旅行業界は、人を元気にでき、日本の魅力を発信できる機会の多い業界です。これからもぜひ、旅行や観光で日本を盛り上げていきたいです。

## 資格

# キャリアが広がる資格

各コースはそれぞれキャリアにつながる資格を取得するためのプログラム(諸課程)を設けています。国家資格としては、中学校や高校の教員(英語、社会・地理歴史・公民)、学芸員、日本語教員、社会教育主事を目指すための課程を用意しています。大学全体の制度を利用して、図書館などの司書の資格を取得することもできます。また、旅行業界を目指す学生を対象に旅行業務取扱管理者の資格取得を支援する授業や、外国語の資格検定試験の対策を行う授業の開講、受検料の補助制度の設立など、学部独自のサポートも積極的に行っています。

## 日本語を通して 世界中の人と関わりたい

Miku Takahashi

高橋 未向さん

日本語教員養成課程で日本語教育について学んでいます。いま日本では日本語の支援が必要な外国人が増えており、そういった人たちのために、日本語の適切な教育機会の提供や、日本に住む外国人のための「やさしい日本語」の普及が求められています。私は日本語の教育を通して世界中の人と関わり、その関わりのおかげで、自分にできることや、やるべきことを探していきたいと思っています。日本語教員養成課程の授業を通して、ふだんは意識しない日本語の面白さや不思議さも発見することができ、学ぶことの楽しさを実感しています。

## 卒業生

## 生徒と共に成長できることが 教員の魅力です

Nakata Shiryu

中田 巳龍さん 神奈川県中学校英語教員

私は中学校の英語教員として働いています。英語科の教職課程では、同じ教員を目指す仲間と意見交換する機会が多く、人と関わる職業につく構えがここで身についたと感じます。英語科教育法の授業では、現代に必要とされている教育方法を模擬授業として行い、実践形式で学ぶことができました。教員採用試験の面接や小論文対策も手厚く、本気で教員になりたい学生には十分すぎる環境が整っています。教員の魅力は生徒の成長を間近で感じられることです。行事や授業など取り組むことが多い点は大変ですが、自分自身の成長も日々実感できます。